

旧西尾家住宅 & 旧中西家住宅特集！



#旧中西家住宅 #庭園 #紅葉



#旧西尾家住宅 #ドイツ壁



#旧西尾家住宅 #アーチ門 #鉄平石



#旧中西家住宅 #格子窓 #紅葉

今回の博物館だよりは、吹田市内に所在する重要文化財 旧西尾家住宅（吹田文化創造交流館）と国登録・市指定有形文化財 旧中西家住宅（吹田吉志部文人墨客迎賓館）の特集号です。令和2（2020）年度～令和3（2021）年度にかけて実施した旧西尾家住宅外塀（鉄筋コンクリート塀）保存修理工事と令和3年11月20日～28日にかけて開催した旧中西家住宅秋の特別公開の様子を

ご紹介します。旧西尾家住宅の保存修理工事では塀の側からレンガで作られた集水枡やアーチ門の石貼りが新たに発見されました。旧中西家住宅秋の特別公開では普段は非公開の奥座敷や茶室を公開し、併せて中西家伝来の美術工芸品を多数展示しました。旧西尾家住宅・旧中西家住宅の魅力の再発見に繋がると幸いです。

（詳しくは3～5ページ）

文化財保護の取り組み

埋蔵文化財の調査

吹田市内には現在約150か所の遺跡（埋蔵文化財包蔵地）が確認されています。遺跡で土木工事が行われると地下にある遺跡が破壊される可能性があるため、遺跡に影響があると判断される場合は発掘調査・試掘調査、遺跡に影響を与えないと予測される場合は工事の際の立会を行っています。

令和2（2020）年度は、発掘調査23件、試掘調査5件、立会47件を実施しました。

文化財の保存・管理・公開・活用

－文化財保存事業補助金の交付－

令和2年度は市指定有形民俗文化財1件、市指定無形民俗文化財1件、市地域無形民俗文化財4件の保存事業に補助金を交付しました。

－文化財の管理・公開－

国史跡七尾瓦窯跡（岸部北5丁目）、国史跡吉志部瓦窯跡、府史跡吉志部瓦窯跡（工房跡）、吹田34号須恵器窯跡（いずれも岸部北4丁目）および雉子礮碑（垂水町1丁目）について、管理を行うとともに一般公開しています（常時見学可）。

－文化財の普及・啓発－

文化財の啓発資料の作成・頒布、市内の遺跡等の文化財所在地への文化財説明板の設置等を行っています。令和2年度は、市指定有形民俗文化財都呂須地車（内本町2丁目）の説明板の修繕を行いました。また、平成14（2002）年度に実施した榎坂遺跡第6次発掘調査の成果報告として『榎坂遺跡発掘調査報告書Ⅰ－榎坂遺跡第6次発掘調査－遺構編』を刊行しました。

ペーパークラフトで歴史を学ぼう9



【No.29 太鼓楼】

本作品は吹田市内に所在する太鼓楼（寺院等で時を知らせたりするために打たれる太鼓を2階に設置した建物）をモデルにしたものです。



【No.30 千里ニュータウン展望台】

昭和41年(1966年)、建設中の千里ニュータウンを一望できる展望台として建設されたもので、昭和天皇が視察に訪れたことでも知られています。本作品は千里中央公園の展望台の外観を復元したものです。

国の重要文化財である旧西尾家住宅の茶室積翠庵は明治26年（1893年）建築で、京都茶道藪内家に伝わる茶室燕庵（重要文化財）及び雲脚の写しです。本作品は積翠庵の外観を復元したものです。



【No.31 重要文化財旧西尾家住宅茶室積翠庵】

令和3年度 旧中西家住宅 秋の特別公開

令和3（2021）年11月20日（土）～28日（日）の9日間、旧中西家住宅（吹田吉志部文人墨客迎賓館）で、毎年恒例の「秋の特別公開」が開催されました。

新型コロナウイルスの感染予防のため、定員を通常の半数である15人までとし、マスク着用やアルコール消毒等の対策を講じながら予定通りの日程で開催することができました。期間中の入場者は9日間で198名と予想以上に多くの方が見学に訪れられました。

毎年、秋の特別公開は庭園の紅葉の時期に合わせて計画しますが、準備の都合上、会期の決定はかなり早い時期に行います。そのため、紅葉の見ごろの時期にうまく日程が合うかどうか毎年心配の種ですが、今年は開始日にはある程度色づいており、会期後半に向けて見ごろに近づいていくというちょうどいい時期に実施することができました。

特別公開では普段の見学の際には公開していないお茶室「喜雨庵」や離れ座敷の内部をご覧いただいておりますが、今回は従来の見学コースを一部変更して、離れ座敷内を通り襖絵や掛軸などの展示物をより近いところから見学していただく、という方法を採用しました。新しい見学コースは来館されたお客様にはとても好評で、

特に離れ座敷では今回展示の迫力のある大きな掛軸「虎図」（伝長澤蘆雪筆・江戸時代後期）や豪華な金箔地の襖絵「松に小禽図」（作者不詳・江戸時代中期）などの人気が高かったようです。

旧中西家住宅所蔵の掛軸等の美術工芸品の展示や離れ座敷内部の見学といった今回のような特別公開は、次回は来年春（4月上旬ごろ）に予定しています。

また、通常の見学は前日までの事前予約制ですが毎月受け入れていますので、冬枯れの庭園などを見学かたがた、多くの方がご来館されることをお待ちしております。どうぞお気軽にお電話をください。

（旧中西家住宅館長・松本仲雄）

観覧日	〈建物及び庭園の公開〉 水・土・日曜日 ①午前10時 ②午後1時 ③午後3時 〈庭園の公開〉 火・木・金曜日 ①午前10時～正午 ②午後1時～4時30分
休館日	月曜日・12月29日～1月3日
定員	各回30名（コロナウイルス感染拡大防止のため、当面15名に制限）
入館料	無料
申込方法	観覧希望日の前月1日から予約受付。 観覧希望日の前日までにお申し込みください。
お問合せ	〒564-0002 吹田市岸部中4丁目13番21号 電話・FAX 06 (6386) 1182



特別公開の様子

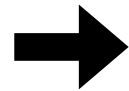


床の間いっぱいに飾られた掛軸「虎図」

重要文化財旧西尾家住宅外塀（鉄筋コンクリート塀）の修理報告



アーチ門（修理前）



アーチ門（修理後）

旧西尾家住宅の鉄筋コンクリート塀は、上部は凹凸が特徴的なドイツ壁仕上げ、下部は花崗岩の切石と葛石で化粧されており、昭和初期に建てられました。

令和2年度～令和3年度にかけて実施した今回の工事では、塀の既存基礎部分にコンクリートの基礎を新設して耐震補強を行ったほか、経年劣化により風化したアーチ門の修理などを行いました。

文化財を修理する際は、建てられた当時と同じ材料、同じ技法で修復しなければなりません。また、傷んだ部材も全て取り替えるのではなく、健全な部分はできる限り残して修理を行います。

今回の工事中に新たに発見されたレンガ製の集水桝や陶製の土管などの排水施設は、鉄筋コンクリート塀と一体となって設置されていたことから、塀と同じ昭和初期に施工されたと考えられます。さらに、アーチ門のアプローチで見つかった鉄平石を用いた石貼りは、離れ東棟サニタリーの布基礎外壁の石貼りとデザインが一致していることから、離れを設計した建築家武田五一が鉄筋コンクリート塀の設計にも関わっていたと考えられます。

（河合智子）



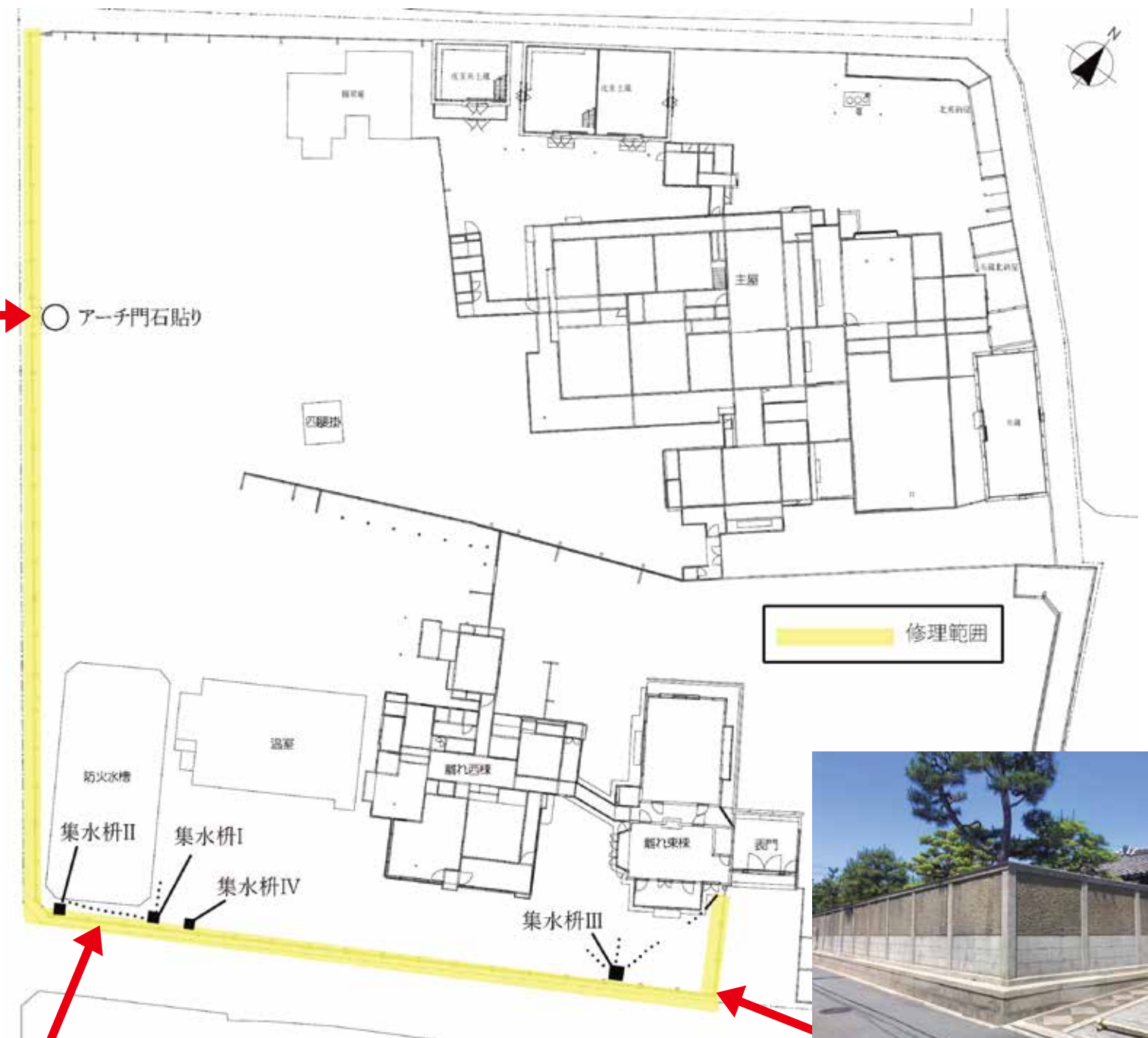
アーチ門石貼り



集水桝Ⅱ



陶製土管



○ アーチ門石貼り

修理範囲

集水桝Ⅱ

集水桝Ⅰ

集水桝Ⅳ

集水桝Ⅲ



集水桝Ⅰ



鉄筋コンクリート塀（修理後）



鉄筋コンクリート塀（修理前）

垂水遺跡の発掘調査

(円山町)

たるみいせき

垂水遺跡は千里丘陵の東南端、吹田市垂水町1・2丁目から円山町にかけて展開する複合遺跡です。特に弥生時代の高地性集落として大阪湾岸に分布する遺跡群の中でも重要な位置を占めていることが先学の研究で明らかにされています。

今回の調査は令和2年(2020年)11月に丘陵上の円山町において住宅建設に伴い調査を行ったもので、通算27回目の調査です。調査区内の地表



発掘調査の様子



土器の出土状況

下約30cmの黄白色粘土層で、南側に緩やかに傾斜する落込み遺構(深さ約50cm)が確認されました。遺構内の堆積土から弥生土器の土器群が確認され、土器群中に含まれる遺物の遺存状況は良好ではありませんでしたが、遺物収納箱8箱分もの多量の出土がありました。弥生土器は弥生時代中期から後期の壺、高杯、甗等がありました。

今回の調査は、わずかな面積を対象としたものでしたが、弥生時代の落込みが確認され、その中から多量の弥生土器が出土しました。これ



調査時に出土した土器

らの遺構・遺物は、弥生時代の垂水遺跡に関連し、弥生時代に近隣で展開した集落跡の一部と考えられます。

(西本安秀)

高城遺跡の発掘調査

(高城町)

高城遺跡^{たかしろ い せき}は、平成5年（1993年）に住宅建築に伴う調査によって発見された遺跡で、現在では高城町・昭和町に展開することが確認されています。これまで19次に及ぶ調査によって、主に古墳時代・平安時代～中世の集落跡と考えられています。

今回の調査は令和3年（2021年）4月に、個人住宅の建築に伴い実施したもので、通算20回目の調査です。調査では地表下約50cmの茶褐色粘質土層面で遺構（ピット、小規模な穴）が合計9か所認められました。狭小な範囲の調査ですので、遺構の詳細については明らかにできませんでした。

出土遺物はピットから古墳時代の須恵器・土師器の破片が出土しました。



調査区全景



調査区近景



ピットの検出の様子

以上のとおり、確認したピットは、古墳時代の建物か柵等の遺構の一部の可能性があり、当地には古墳時代の高城遺跡集落跡の一部が展開していると考えられます。

(西本安秀)

令和3年度特別企画「むかしのくらしと学校」

◆イベントの案内◆

◆子供体験講座◆

「手づくりおひなさま」

日時／令和4年2月6日（日）
午後1時30分～3時30分
講師／エコおもちゃ作り市民塾の皆さん
内容／和紙・木材等を使って作ります。
場所／講座室
定員／15名
対象／小学生以上
申込／1月25日（火）必着

◆親子体験講座◆

「大昔のアクセサリー～^{まがたま}勾玉づくり～」

日時／令和4年2月12日（土）
午前の部 10時～12時
午後の部 1時30分～3時30分
講師／博物館学芸員・博物館ボランティア
内容／ろう石を削ったり、磨いたりして、
大昔のアクセサリーまが玉を作ります。
場所／講座室
定員／午前、午後の部とも各20名
対象／小学生・中学生・保護者
申込／2月1日（火）必着

◆子供体験講座◆

「ミニチュア銅鏡づくり」

日時／令和4年2月19日（土）
午前の部 10時～11時30分
午後の部 1時30分～3時
講師／博物館学芸員・博物館ボランティア
内容／五反島遺跡出土の銅鏡の3分の1
ミニチュアをつくります。
場所／講座室
定員／午前、午後の部とも各10名
対象／小学3年生～中学生
（小学生の場合は保護者同伴）
申込／2月8日（火）必着

◆子供体験講座◆

「手作りおもちゃ教室」

日時／令和4年2月27日（日）
午前の部 10時～12時
午後の部 1時30分～3時30分
講師／心ふれあいSA吹田おもちゃ部会
内容／昔の遊び道具と牛乳パックや身の回
りにある材料を使っておもちゃ作り
をします。
場所／講座室
定員／午前、午後の部とも各15名
対象／5歳～中学生
申込／2月15日（火）必着

◆親子体験講座◆

「昔は草木で染めたんだあー^{くさきぞ}草木染め体験^{たいけん}」

日時／令和4年3月5日（土）
午後2時～4時
講師／博物館ボランティア
場所／講座室
定員／10組
対象／小学生・中学生・保護者
申込／2月22日（火）必着

◆親子体験講座◆

「昔のあかりと火おこし体験」

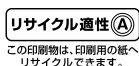
日時／令和4年3月6日（日）
午前の部 10時～12時
午後の部 1時30分～3時30分
講師／博物館ボランティア・博物館学芸員
内容／ろうそく、行灯、石油ランプなど、
昔のあかりを学習し、火打ち石やま
いぎり等の火おこしを体験します。
場所／講座室（火おこしは屋外）
定員／午前、午後の部とも各10組
対象／小学生・中学生・保護者
申込／2月22日（火）必着

■■申込方法■■

吹田市役所ホームページの電子申込システムからの申込
か、はがき、またはFAXに、講座名、希望の時間帯、参
加者全員（付き添い含む）の名前（ふりがな）、郵便番号、
住所、学年、電話番号を書いて博物館まで。申込多数の
場合は、抽選となります。

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、特別企画展やイベントが中止になることもあります。
詳しくは吹田市立博物館公式ホームページまたは電話でご確認ください。

吹田市立博物館だより 第88号 令和3年（2021年）12月28日発行 編集・発行／吹田市立博物館
〒564-0001 吹田市岸部北4丁目10番1号 TEL 06 (6338) 5500 FAX 06 (6338) 9886 ホームページ <http://www2.suita.ed.jp/hak/>



この冊子は2,500部作成し、1部あたりの単価は26円です。
森林認証紙と植物油インキを使用しています。